

平成 28 年 2 月 1 日

国交省横浜国道事務所長殿  
東日本高速道路(株)横浜工事所長殿  
横浜市道路局長殿

横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会  
会長 比留間哲生



**質問・回答会議(平成 27 年 12 月 2 日)における懸案事項等に係る再質問について**

2015 年 12 月 2 日の開催した標記会議において貴職等関係者からの回答・説明を伺いましたが、添付の議事録の如く当方として理解には至らない項目、内容等が多々ありました。

それらについて並びに今回新たなものとして下記に示す質問を提出致しますので、ご検討の上速やかに丁寧な回答・説明を頂きたく要請します。

[記]

**【1】前回(2015.12. 2)会議に基づく質問事項**

**質問 1 : 庄戸トンネル(4 連近接区間を含む)について**

①庄戸トンネルの現計画(構造、工法等)の提示と説明

- ・第 2 回検討会(2015.10. 6)資料の 3P, 4P, 5P, 9P, 11P, 12P, 14~21P を提示の上、構造、工法、その工法での実績等の説明。
- ・先進導坑から本トンネル掘削して完成に至るまでの手順についての説明。
- ・工専用トンネルの構造、工法、掘削手順、本トンネルとの関係の説明。
- ・掘削土砂量と排出位置、運搬・処分の説明

②盛土部分の土質改良を行うとしている高速噴射攪拌工法の工法の概要、土質改良剤仕様、住宅地における実績の説明

③第 2 回検討会での意見に対する今後の具体的施策の説明

④庄戸トンネル(分合流部、低土被り区間)の長さ表記が 2 種類あるが、正しい長さの提示

**質問 2 : 22 年交通センサス値の OD 表等の取り纏め状況について**

①平成 22 年測定の交通センサス値に基づく OD 表、将来交通量予測値の取り纏め状況について、どこまで進んでいるかを担当部局、担当職域まで踏み込んだ調査を行い滞留箇所を明らかにすること

②22 年度センサスに基づく OD 表等の公表時期の見通し

**質問 3 : 交通センサス、将来交通量需要予測評価について**

①H17 年交通センサス測定結果公表及びその測定結果に基づく OD 表及び将来交通量需要予測へ

の適用を開始した時期の明示

②横環南線の都市計画決定時の計画交通量算定における交通量センサ測定年、計画交通量は何年であったかについての調査とその結果の提示

**質問4：土質改良部分のNEXCOとしての補償の考え方について**

地下構造物設置にあたっての周辺土質改良がおこなわれる場合のNEXCOとしての補償基準の提示

**質問5：朝日平和台近傍防空壕重点工事について**

充填物質の性状（科学物質名等）の提示

**質問6：シールドトンネルでの地盤沈下事例の南線トンネルへの適用について（前回未回答の再掲）**

当方が承知している北線の崩落事故他及び栄区内下水道工事における地盤沈下事故の3件について以下に提示するので、南線工事のシールドトンネル安全性に関し説明願いたい。

1) 北線シールドトンネル工事の崩落（別紙-1提示）

・時期：平成22年12月1日頃、なお、市長が参加したシールドマシン発進式典は10月5日である。

・場所：港北区大豆戸地区の環状2号線と太尾新道間の北線工事地下

2) 北線シールドトンネル工事の地盤隆起事故（別紙-2提示）

・時期：平成25年6月20日

・場所：北線と子安地区における第2京浜との交差付近

3) 栄区内下水道シールドトンネル工事における地盤沈下事例（別紙-3提示）

・時期：平成12年6月桂町交差点立坑50m掘削、戸塚遠藤線の地下40～50mを掘削  
地下50mの堅い地盤の2.8mφの掘削で発生

・場所：平成13年4月栄共済病院付近で地盤沈下

質問① 提示3件の事故事例のうち未提示の「3) 栄区内下水道トンネル工事における地盤沈下事例」の調査結果の提示、及び、提示3件の事例の原因等から、どのように評価（事前ボーリング調査、工法選定、マシンとの適合性その他）して、庄戸トンネル他南線工事計画に適用させているか、させようとしているかについて具体的に提示願いたい。

質問② シールドマシン位置測定器について

・シールドマシン掘削位置測定器は絶対位置（3次元位置）をコントロール出来るものか

・シールドマシンの地層（掘削部外周部）に与える影響力

**質問7：介在砂層問題について（前回質問の再掲）**

「介在層の意味・用法を知る」というHPがあり、その中に「特に、土丹中に介在砂層が点在しているような地山では介在砂層に対して止水の薬液注入を確実に行う必要があるので、ルーフシールドトンネル間を掘削するに先立ってルーフトンネルの周囲地山を全周かつ全長に亘って十分に

探査して介在砂層の位置や状況を高精度で把握することが必要である」との一文がある。NEXCOはこれを行いましたか、まだ行っていないとするとこれから行う意思はありますか。

**質問 8：横浜地下鉄工事の地盤沈下事例の南線への適用について（前回質問の未回答の再掲）**

横浜市営地下鉄工事との比較言動に関わって、「問題がないとする具体的・科学的にはるかに進歩した技術について地下鉄工事と比較したうえでの解る説明」を再度願いたい。加えて、市営地下鉄でのシールドトンネル部分における地盤沈下事例の有無を調査の上回答願いたい。（別紙－4提示）特に以下の点を加味した進歩した技術についても、付け加えて説明願いたい。

- ・既に技術が進歩している時期と思われる戸塚～湘南台間（着工 S62 年、開業 H11 年、地盤沈下件数 346 件）、グリーンライン日吉～あざみ野間（着工 H13 年、開業 H20 年、地盤沈下件数 398 件）はなぜ起きたか？
- ・地盤沈下件数はトータルで 2,889 件にも上るが、甚大な被害が生ずることを事業者は解っていたはずと考えざるを得ない。技術の進歩を云々するならば、昭和の時代の事故事例を平成の時代の技術でなぜ防げなかったのか？について進歩した技術評価に則って説明願いたい。（少なくとも、NEXCO として「今は技術がその当時より進歩しているので問題ない」との豪語した責任上、何が問題で起きたのかは説明すべきである）

**質問 9：家屋等事前調査範囲について**

桂台トンネル工事説明会（2015.8.7～8）における、家屋事前調査範囲（20m）説明の根拠及び南線における NEXCO としての既に地域等に提示している事前調査範囲の提示

**質問 10：湘南桂台ボーリング調査結果の未回答部分について（前回質問の再掲）**

別途内容を提示するので、前述の「庄戸地区ボーリング調査関連に係る質問項目」の再質問と併せ別途会議の場で回答願いたい。

**質問 11：地質に関する質問会議について（前回質問の再掲）**

「庄戸地区以外に関係する質問」について、別途、地質に関する会議の場を設けて回答願いたい

**【2】追加質問**

**質問 12：公田・笠間トンネルについて**

- ①今後の主要日程の提示（業者決定、工事説明会、工事着工、立坑工事開始時期を含む）
- ②地下水位調査はどのようにされているか、今後追加ボーリングの予定はあるか

以上

添付資料：事業者との質問回答会議（平成 27 年 12 月 2 日）議事録